

学校だより



春里



平成28年度 7月号

学校教育目標

「生きる力」の育成

【目指す生徒像】

- ・笑顔で元気にあいさつする生徒
- ・礼儀正しく、仲良く助け合う温かい心の生徒
- ・進んで学習し、運動を好む生徒
- ・自ら考え、夢を持って行動する生徒

さいたま市立春里中学校

## 「スマホの使い方」

校長 松井 秀史

最近、携帯電話等によるトラブルが増えています。本校の生徒以外の人と知り合いトラブルに巻き込まれたり、友人にほかの友人のことで相談をしたつもりが仲間外れを作る原因となったり、携帯電話等は使い方によっては危険なものとなります。私は中学生には必要ないと思っていますが、現状は多くの生徒が使っているようです。現在、日本では中学生が自分名義でスマホ等携帯電話を購入することはできません。携帯電話等を子供たちに渡すときには必ず使い方の指導をお願いします。

### 《スマホを使うための約束》

以下に抜粋した内容は、クリスマスの日に米国のあるお母さんが13歳の息子にスマートフォンをプレゼントとしてあげたときに一緒に渡した手紙に書かれた「18の約束」の内容（抜粋）で、米国の新聞に取り上げられ、日本でも一時期話題になったものです。参考にしていただければと思います。

このプレゼントを受け取ったからにはそれなりの約束を守ってもらいます。これらのことが守れないようならすぐにとりあげますよ。

- これは私のスマホです。私が買って、あなたに貸してあげています。
- 学校のある日は午後7:30に、休日は午後9:00にママかパパに渡しなさい。友達親が直接出る固定電話に電話出来ないよう相手ならその人には電話もSMSもしないこと。
- 学校に持って行ってはいけません。メールでやり取りする相手とは直接会話を楽しみなさい。会話は生きる上で大事なスキルです。
- このテクノロジーを使って嘘をついたり人を馬鹿にしてはいけません。ネットいじめに関わるようなこともしてはいけません。
- 人に面と向かって言えないことをこのスマホを使って言わないでください。
- ポルノは禁止です。
- 公共の場では電源を切るか、サイレンスモードにしましょう。特にレストラン、映画館など他の人としやべっているときは気をつけなさい。
- あなたや他人のプライベートな写真を送ったり受け取ったりしてはいけません。今のあなたは賢いですが、そういうことがしたくなる時期がやってきます。一度広まってしまったら、解決するのはとっても難しいです。
- スマホなしで生活することを覚え、携帯を失うことを怖がるような依存症になってはいけません。



### 《ちょっとひとこと・・・》

中学校時代は、いろいろなことに興味を持ち、自分の可能性を広げる大切な時期です。体も心も大人に近づいてきてはいるものの、まだまだ野放しに任せるには早すぎます。かけがえのない経験を積ませることが大切ですが、取り返しのつかない経験では困ります。子供たちに「何が必要で何がまだ不必要なのか」「注意点はどこなのか」は周りの大人が少し考え、指導してあげなくてはいけないのでしょうか。



子供たちの輝かしい未来のために！

